

## 片坂バイパス橋川トンネル 拳ノ川小学生が工事現場見学

国土交通省中村河川国道事務所が整備を進めている片坂バイパスの橋川トンネル工事現場を、10月17日、拳ノ川小学校全校児童16人が見学しました。



橋川トンネルは、片坂バイパスに計画されている3本のトンネルの中の1本で、2番目に長い延長936mです。児童らは工事概要やトンネルの作り方の説明を受け、模擬発破体験や工事用の建設機械を見学しました。(建設課土木係)



今回の見学を記念し、場外の一角にタイムカプセルを埋設しました。10年後、成長した子どもたちは当時を思い出し、記念の品を懐かしむことでしょう。

## 熊井隧道が土木学会から 選奨土木遺産に認定されました

このたび、町道中角熊井線の熊井隧道が、公益社団法人土木学会から選奨土木遺産として認定されました。

熊井隧道は1905(明治38)年に建設されたレンガと石張りによるトンネルです。当時、レンガは佐賀港から1個1銭の運び賃で小学生などが1〜2個ずつ運び、熊井側入口の石張りは、2人の職人が左右に分かれ腕前を競ったと言われています。

今後、先人が築いたこの美しく魅力的な土木遺産を町の宝として後世に残すため、維持保全に努めていきます。(建設課土木係)



町道では唯一のトンネル。建設から109年経った今でも、廻路道などに現役で利用されています。

## 泊まり合い人権教育研修会 今年が高知市で開催しました

第42回「黒潮町泊まり合い人権教育研修会」を、10月18・19日に高知市で行い、黒潮町に在住・勤務している44人(スタッフ含む)が参加しました。

1日目の午前は、朝倉のグループホーム「やさしい里」などを見学し、施設建設の経過などを知ることができました。この事業所は仕事保障の取り組みを長年続け、補助金はもらわず、賛助金や寄付などの自主財源だけで施設を建設。高齢者や障がい者などをはじめ、多くの方の雇用の場となつていきます。また、そこで働く職員の方から、利用者の尊厳を大切に考えている思いなども聞かせていただき、高齢者が安心して暮らせる、人によさしい町づくりにつながっていると感ずることができました。

1日目の午後と2日目は、教科書無償運動発祥の地である長浜で、フィールドワークなどをしながら学習を深めました。小中学校の教科書が無償となったきっかけに、長浜から始まった「義務教育は無償とする」という憲法第26条を守る運動があり、教師なども一緒に

なつた取り組みがありました。

また、南海中学校生が犠牲になつた「紫雲丸海難事故」についても学びました。犠牲者の中に被差別地域の生徒がいたことから、部落差別が事故の犠牲を拡大したかのように言われることがあります。事故と部落差別は関係ないことなどを正しく知ることができました。講師の話から、社会の不合理や矛盾に気付く感性を養うことが大切なども実感しました。

班別会では、参加者が感想や意見を出し合い、初めて参加した方からは「すごい楽しい!もつと知りたい」といった感想も聞くことができました。(人権啓発係)

